

1. 日野郡で商談会を開催しました。

6月5日に日野郡の農産物を取り扱った商談会を開催しました。東京銀座のブランドショップからバイヤーを招き、日野郡から地元農産物を利用した商品を取り扱う11経営体が参加しました。



写真1. 商談会の様子

(1) 商談会開催の目的

今回の商談会は、6次産業化や農商工連携商品の販路開拓と商品のブラッシュアップを目的に、当普及所が(財)鳥取県産業振興機構と連携して開催しました。

(2) 参加者の声

日野郡での商談会は初めての試みでもあり、参加者の中には商談経験のない経営体もありました。商談会后、以下のような感想をいただきました。

- ・初めての経験でちょっと気後れしたが、参加できて良かった。
- ・量販店より、小ロット取引が可能なお店等の商談会の開催を望む。
- ・2～3社同時商談会など、商談会でのバイヤーの数が増えたら良い。

(3) 今後の取り組み予定

今回の商談の結果は、バイヤーがサンプルを試食後、結果を出されることとなっています。今後も引き続き、日野郡の商品をアピールしていける場を作っていきたいと考えています。また、6次産業化のステップアップを目指した研修会等も実施する予定です。

【担当：木下】

2. 野菜の情報提供(トマト土壌病害対策実証ほについて)

トマトのほ場では長年の連作によって青枯病やかいよう病などの土壌病害が問題となっています。昨年の調査では約3分の1の生産者のほ場で、土壌病害が発生していました。平成24年から普及所は日南試験地と連携しながら、ダゾメット剤による土壌消毒の実証ほを設置し、病害対策を推進しています(日南5戸、江府2戸実施)。

本年は、更に新しい取り組みとして、かいよう病耐病性台木‘いいしごと’の耐病性確認を日南町で実施しており、その効果に期待をしているところです。

【担当：小谷】

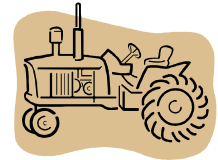


(お問合せ)日野農業改良普及所 電話:0859-72-2024 FAX:0859-72-2090

(新規就農)渡辺(6次産業化)木下(作物)石倉、金川(野菜)小谷(畜産)米村(花卉)福本(果樹)高濱

※この「かわら版」は隔月発行予定です。日野農業改良普及所HPよりからも閲覧出来ます。

3. 熱中症に注意しましょう！



今年も本格的な農作業シーズンがやってきました。
エルニーニョ現象が予報され、農作物への影響も心配されます。
一方で西日本は例年通り高温となる予報もあります。熱中症などにかからないよう、
体調管理には十分注意して農作業を行いましょう。

(1) 熱中症って何？

高温環境下で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスや、体内の調整機能が崩れるなどして、発症する障害の総称です。症状は、めまい・失神・頭痛・吐き気などがあり、場合によっては意識不明や死に至ることもあります。

近年、熱中症の被害が増加しているため（図1）、熱中症のメカニズムとその対策を知ることが大切です。

(2) 対策は？

農作業では、特にハウス内での作業で熱中症になりやすいので注意が必要です。

- ・暑さ対策の被服を着る ※1
- ・こまめな水分補給
- ・暑い日は決して無理をしない
(できるだけ涼しい時間帯に作業を)

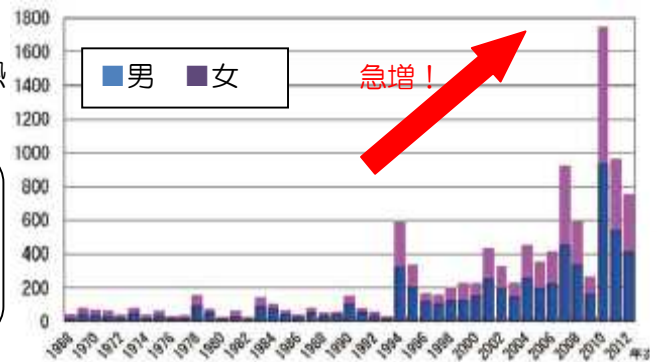


図1 男女別熱中症死亡者数

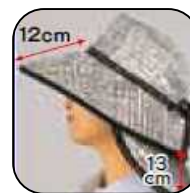
出展：厚生労働省 統計資料より

(3) 熱中症になってしまったら

- ・涼しい場所に避難し、衣服を脱ぎ体を冷やす
- ・水分補給をする
- ・自力で水が飲めない、意識がない場合は直ちに救急車をよぶ

※1 暑さ対策グッズ

涼かちゃん



株式会社丸福繊維

ヒンヤリ
スカーフ



普及所長
高口



新規就農担当 渡辺



畜産担当 米村



水田作物担当 石倉



花卉担当 福本（広域）



6次産業化担当 木下



野菜担当 小谷



水田作物担当 金川



果樹担当 高濱（広域）